

新卒看護職員に期待する「看護基本技術」項目と基礎教育での経験有無

領域	項目	基礎教育の臨地実習で「実施見学したことがない」項目 (50%以上)	
a	環境調整技術	1. ベッド周囲の環境整備 2. 基本的なベッドメイキング 3. 基本的なりネン交換	
b	食事援助技術	1. 対象の個別性に応じた食事の工夫と援助 2. 経管栄養法を手順に基づいて、安全に実施 3. 栄養状態、体液、電解質のバランスについてのアセスメント 4. 疾患別の食事指導（糖尿病、腎臓病、胃切除術後など）	
c	排泄援助技術	1. 排泄のアセスメントと援助 2. 便器・尿器を当てる介助 3. オムツ交換 4. 留置カテーテル挿入中の観察（尿の性状・量など） 5. 中地カテーテルの挿入と取り扱い 6. 摘便 7. 浣腸 8. 導尿 9. ストーマケア	9. <u>60.1%</u>
d	活動・休息援助技術	1. 車椅子での安全な介助・移送 2. ストレッチャーでの安全な介助・移送 3. <u>松葉杖歩行についての指導</u> 4. 良肢位の保持 5. 自動・他動運動の援助 6. ボディメカニクスの知識や技術を使った体位変換 7. 食事、排尿、清潔、騒音などの環境を整えて、睡眠の質を高める援助	3. <u>52.2%</u>
e	清潔・衣生活援助	1. 清拭 2. 洗髪 3. 口腔ケア 4. 陰部ケア 5. 対象者の個別性に応じた部分浴 6. 入浴時の援助 7. 寝衣交換などの衣生活支援	
f	呼吸・循環を整える	1. 酸素吸入中の管理（対象者の観察と指示量・加湿の確認など） 2. 血液ガス分析データの解釈 3. 気管内吸引の実施 4. ネブライザーの実施 5. 体位ドレナージの援助 6. 体温調節方法の選択（温罨法、冷罨法）	
g	創傷管理技術	1. 創傷（手術創を含む）処置の介助と観察 2. 褥瘡の処置と観察 3. 褥瘡の予防ケア	
h	与薬の技術	1. 原理・原則に基づいた与薬 2. 経口薬の与薬 3. 外用薬の与薬（点眼・塗布など） 4. 皮下注射 5. 皮内注射 6. 筋肉注射 7. 静脈内注射の準備と介助 8. 点滴静脈注射の準備と介助・管理	

h	与薬の技術	<ul style="list-style-type: none"> 9. <u>中心静脈栄養法の準備と介助・管理</u> 10. <u>輸液ポンプの準備と管理</u> 11. <u>輸血の種類、血液型、氏名の確認、取り扱い</u> 12. <u>輸血中、輸血後の副作用の観察とバイタルサインの測定</u> 13. <u>抗生物質の用法と副作用についてのアセスメント</u> 14. <u>インシュリンの種類、用法と副作用についてのアセスメント</u> 15. <u>麻薬の副作用、副作用の観察、取り扱い</u> 16. <u>向精神薬の副作用、副作用の観察、取り扱い</u> 17. <u>毒薬、劇薬の取り扱い</u> 18. <u>消毒剤の種類と作用、用途、取り扱い</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 9. <u>50.4%</u> 10. <u>50.7%</u> 11. <u>70.8%</u> 12. <u>72.2%</u> 13. <u>59.0%</u> 14. <u>52.8%</u> 16. <u>72.5%</u> 17. <u>61.8%</u> 18. <u>74.3%</u>
i	救命救急処置技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>意識レベルの観察</u> 2. <u>呼吸状態の観察</u> 3. <u>脈拍の確認</u> 4. <u>気道確保</u> 5. <u>気管内挿管の準備と介助</u> 6. <u>口腔内の観察、異物除去</u> 7. <u>人工呼吸器の準備と方法</u> 8. <u>心臓マッサージ</u> 9. <u>チームメンバーへの応援要請</u> 10. <u>救急カートの場所と物品内容の把握</u> 11. <u>除細動器の準備と必要性の把握</u> 12. <u>止血の介助</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 4. <u>61.4%</u> 5. <u>78.3%</u> 6. <u>69.5%</u> 7. <u>72.1%</u> 8. <u>71.5%</u> 9. <u>76.3%</u> 10. <u>75.5%</u> 11. <u>85.5%</u> 12. <u>79.5%</u>
j	症状・生体機能管理技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>呼吸、脈拍、体温、血圧を正しく測定</u> 2. <u>呼吸、脈拍、体温、血圧測定値の評価、記録と報告</u> 3. <u>身長・体重を正しく測定</u> 4. <u>身長・体重測定値の評価（栄養や発達の状態）</u> 5. <u>症状、病態を正確に観察</u> 6. <u>観察した症状、アセスメントの記録と報告</u> 7. <u>静脈血の採血と検体の取り扱い</u> 8. <u>動脈血採血（血液ガス）の準備と検体の取り扱い</u> 9. <u>採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い</u> 10. <u>血糖測定と検体の取り扱い</u> 11. <u>心電図（12誘導の測定）</u> 12. <u>24時間持続心電図モニターの管理</u> 13. <u>呼吸機能検査と説明と検査時の援助</u> 14. <u>胃内視鏡検査の説明と検査時の援助</u> 15. <u>気管支鏡検査の説明と検査時の援助</u> 16. <u>腰椎穿刺の説明と検査の介助</u> 17. <u>骨髄穿刺の説明と検査の介助</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 11. <u>55.2%</u> 12. <u>61.0%</u> 13. <u>71.8%</u> 14. <u>65.2%</u> 15. <u>79.1%</u> 16. <u>63.0%</u> 17. <u>71.1%</u>
k	感染予防の技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>スタンダードプリコーション（標準予防策）の概念の理解</u> 2. <u>洗浄、消毒、滅菌の内、適切な方法の選択</u> 3. <u>創部の無菌的なガーゼ交換</u> 4. <u>無菌的な気管内吸引</u> 5. <u>適切な手洗いの方法</u> 6. <u>防護用具（ガウン、手袋、ゴーグルなど）の使用方法</u> 7. <u>使い捨て注射器、注射針、刃などを耐貫通性の専用廃棄容器に破棄</u> 	
l	安全管理の技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>当該施設における医療安全管理体制の理解</u> 2. <u>対象に応じた転倒・転落予防策の実施</u> 3. <u>誤薬防止のために手順を守り与薬できる</u> 4. <u>インシデント（ヒヤリ・ハット）事例や事故事例の報告</u> 	
m	安楽確保の技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>対象に合わせた安楽な体位の保持</u> 2. <u>対象に合わせた適切な温電法または冷電法の実施</u> 3. <u>対象に合わせたリラクゼーション（指圧、マッサージ、音、香りの工夫等）</u> 	
n	コミュニケーション技術	<ul style="list-style-type: none"> 1. <u>プリセプター、先輩看護師に自分の考えが言える</u> 2. <u>対象者の話が聴ける</u> 3. <u>電話に対応できる</u> 	

